

平成30年10月24日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 一宮市上祖父江字江北58

団体名 一宮防災ボランティアネットワーク

代表者 職・氏名 会長 伊藤 善之

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

| | | | |
|--|--|---|---|
| 1 事業の名称 | 家具転倒防止支援事業 | | |
| 2 事業の分野 <small>(主たる分野を一つ 選択し、○で囲んで ください。)</small> | 保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援 | 社会教育 農山漁村・中山間地域振興 ○災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他() | まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護 |
| 3 支援金交付申請額 | 184,000円 | | |

(算出基礎)

| | |
|---|----------|
| 事業に要する経費 (a) | 276,000円 |
| 事業に要する経費のうち対象となる経費 (b) | 276,000円 |
| 当該事業によって得られる収入 (c) | 0円 |
| 支援金交付申請額※ 上限:「(b)×2/3」または「(a)-(c)」のいずれか高くない方 | 184,000円 |

※ 1円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4版 (片面印刷) とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

| | | | |
|----------------------------|---|------------------------------|------------------|
| 団 体 名 | 一宮防災ボランティアネットワーク | | |
| 市内事務所の所在地 | 〒494-0014 一宮市上祖父江字江北58 | | |
| 代表者職・氏名 | 会長 伊藤 善之 | | |
| 設立年月 | 17年3月 | 構成員の人数 | 100人 |
| U R L | http:// | | |
| 連絡先 ※この申請に関する問合せに対応できる方 | (担当者氏名) 伊藤 善之 | | |
| | 電話 | 0586-69-6138 | FAX 0586-69-6138 |
| | E-mail | yosiyuit06@kba.biglobe.ne.jp | |
| 団体の目的 | 当会は一宮市内で活動する防災関連団体4つがH17年に一宮市合併に併せてネットワークを結成したもので、年度の協同の防災活動計画を立てて協働で運営実施すること及び、市や社協と防災諸活動の進め方について定期的に協議し、「災害に強いまちづくりに貢献」していくもの。現在は3団体で、あいち防災リーダー会いちのみや支部、一宮防災VCネット、尾西防災ボランティアサークルの会である。 | | |
| 主な事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害に伴う緊急時における支援事業 ・ボランティアコーディネーター養成講座支援事業 ・自主防災会に対する防災啓発活動事業 ・小中高校に対する防災啓発活動事業 ・市及び社会福祉協議会が主催する防災関連事業への支援 ・家具転倒防止支援事業並びに火災警報器取付支援事業 | | |
| 主な活動の実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア支援本部設置・運営に関する協議支援 ・ボランティアコーディネーター養成講座支援 ・市総合防災訓練における防災活動支援 ・社会福祉協議会主催「福祉とボランティア活動展」での防災活動支援 ・自主防災会に対する防災啓発活動 ・小中高校に対する防災啓発活動 ・家具転倒防止支援並びに火災警報器取付支援 | | |
| 今年度予算額 | 288,000円 | 昨年度決算額 | 246,437円 |
| 条例第2条第3項に掲げる要件について | すべて満たしている ・ 一部または全部満たしていない | | |
| 市からの他の補助金等の有無 | 有 (補助金等の名称:) ・ 無 | | |

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

| | |
|---|---|
| 団体名 | 一宮防災ボランティアネットワーク |
| 事業の名称 | 家具転倒防止支援事業 |
| 事業の内容 (目的達成のため どのような事業 を実施するか具 体的に記載) | <p>(1) 実施期間 平成31年4月から平成32年3月まで</p> <p>(2) 実施場所 家具転倒防止の必要とされるお方の自宅</p> <p>(3) 受益対象者 一宮市民</p> <p>(4) 実施体制 <ul style="list-style-type: none"> ・3つの防災関連団体で夫々家具転倒防止支援チームを再結成して頂く。 ・家具転倒防止支援チームに対して、家具転倒防止の施工知識・実技などについて事前に講習を行う。 ・家具転倒防止の施工マニュアルを使用する。29年内容更新した。 ・家具転倒防止対策委員会設置、適宜施工状況フォロー、問題点把握、対策検討、改善実施を担当する。 </p> <p>(5) 具体的な内容 受益対象者の中で家具転倒防止対策を希望された方の自宅を訪問して、事前調査を行った後、家具転倒防止対策の施工を行う。 実施の手順と方法 ①市広報、社協広報、ボランティア連絡会、町内会、自主防災会、老人会、民生委員、マスコミ、ケアマネージャー、福祉介護施設などを通して事業の周知を行い、対策実施の募集をする。 ②希望があったお宅の事前調査を行い、対策必要な箇所、必要な材料の種類・数量の見積りなどを行う。 ③必要な材料の調達を行う。(材料費は1,000円までは事業側負担、1,000円を超える分は依頼者負担) ④施工日を決め、施工を行う。施工に際し近隣の住宅には事前了解を得る。又公団・公社・分譲マンション・賃貸マンション・賃貸アパートなどに対して建物管理者に事前に申請を出して許可を得る。</p> |
| 事業のふりかえりとその生かし方 | <p>(1) 愛知県の家具固定事業の推進は4年目に入った。一宮市から13名の家具固定推進員が登録された。</p> <p>(2) 昨年度は地域の防災講座や連区の防災訓練に家具固定啓発講座を実施し、この事業の有効性をご説明し、利用率を高めることができたので今年度も継続して実施していきたい。</p> <p>(3) 昨年度計画戸数を40戸とし、実績戸数は40戸を達成したので、今年度の計画戸数も40戸とした。</p> |

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4版(片面印刷)とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

| <p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p> | <p>1. 平成23年3月11日東日本大震災が発生、昨年度は6月18日に大阪府北部地震、9月6日に北海道胆振東部地震が発生しており、当地域にも南海トラフ巨大地震や濃尾地震クラスの地震が発生すると報道されている。その場合、一宮市周辺も大きな被害が発生すると思われる。自分や家族の命を守るためには、阪神淡路大震災の教訓から家具の転倒防止は非常に重要なことである。しかし一宮市民の中にはまだ自宅の家具の転倒防止対策が十分に実施されていない</p> <p>当会は、「災害に強いまちづくり」を目指して減災活動をしており、自ら家具転倒防止対策をすることができない方々を対象に、当会で家具転倒防止対策の支援を行い、受益者の被害を最小限にしたい。</p> <p>2. 愛知県でも27年度より家具固定事業を積極的に推進しているので当地区でも引き続き継続する。</p> | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------|----|----|---------------------------|----------------|--|----|-----------------------------------|-------|---|--|
| <p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p> | <p>受益者には、金具などの材料費より1000円差し引いた金額のみをご負担いただくことにしている。</p> <p>この1000円分を公金で実施する理由は、受益者対象として、独居老人等高齢者や身体障害者などが多く、材料費の支払も厳しい人がおられるので、少しでも受益者の負担を減らすことである。</p> | | | | | | | | | | | |
| <p>事業スケジュール</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 1104 639 1126">時期（月）</th> <th data-bbox="647 1104 1398 1126">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 1137 639 1171">4月</td> <td data-bbox="647 1137 1398 1171">3つの防災関連団体で家具転倒防止支援チームを再結成</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1182 639 1261">4月～12月 (随時)</td> <td data-bbox="647 1182 1398 1305">家具転倒防止の広報（市・社協、民生委員、ボランティア連絡会、町内会、老人会、各地防災訓練、マスコミ、ケアマネージャー、福祉介護施設など）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1317 639 1350">4月</td> <td data-bbox="647 1317 1398 1395">家具転倒防止の施工知識・実技講習（前年度実施結果をふまえて再講習）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1406 639 1635">4月～3月</td> <td data-bbox="647 1406 1398 1635">家具固定啓発講座を民生委員の協議会や連区の防災訓練などで実施し、この事業の有効性をPRしていく 家具転倒防止施工 この間適宜家具転倒防止実行委員会を開き、施工の進捗フォロー、問題点ピックアップ、改善等について協議し必要な処置を行う</td> </tr> </tbody> </table> | 時期（月） | 内容 | 4月 | 3つの防災関連団体で家具転倒防止支援チームを再結成 | 4月～12月 (随時) | 家具転倒防止の広報（市・社協、民生委員、ボランティア連絡会、町内会、老人会、各地防災訓練、マスコミ、ケアマネージャー、福祉介護施設など） | 4月 | 家具転倒防止の施工知識・実技講習（前年度実施結果をふまえて再講習） | 4月～3月 | 家具固定啓発講座を民生委員の協議会や連区の防災訓練などで実施し、この事業の有効性をPRしていく 家具転倒防止施工 この間適宜家具転倒防止実行委員会を開き、施工の進捗フォロー、問題点ピックアップ、改善等について協議し必要な処置を行う | |
| 時期（月） | 内容 | | | | | | | | | | | |
| 4月 | 3つの防災関連団体で家具転倒防止支援チームを再結成 | | | | | | | | | | | |
| 4月～12月 (随時) | 家具転倒防止の広報（市・社協、民生委員、ボランティア連絡会、町内会、老人会、各地防災訓練、マスコミ、ケアマネージャー、福祉介護施設など） | | | | | | | | | | | |
| 4月 | 家具転倒防止の施工知識・実技講習（前年度実施結果をふまえて再講習） | | | | | | | | | | | |
| 4月～3月 | 家具固定啓発講座を民生委員の協議会や連区の防災訓練などで実施し、この事業の有効性をPRしていく 家具転倒防止施工 この間適宜家具転倒防止実行委員会を開き、施工の進捗フォロー、問題点ピックアップ、改善等について協議し必要な処置を行う | | | | | | | | | | | |

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4版（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 一宮防災ボランティアネットワーク

事業の名称 家具転倒防止支援事業

収入

| 科 目 | 金額 (円) | 内 訳 |
|--------|---------|--|
| 一宮市支援金 | 184,000 | |
| 事業収入 | 0 | |
| 自主財源 | 92,000 | <input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他 () |
| 計 | 276,000 | |

支出

| 科 目 | 金額 (円) | 左記のうち 支援金算出額 (円) |
|-----------|---------|---------------------|
| 報償費 | | |
| 旅費 | | |
| 印刷製本、消耗品費 | 77,500 | 77,500 |
| 食糧費 | | |
| 通信費、手数料 | 500 | 500 |
| 備品費 | | |
| 人件費 | 198,000 | 198,000 |
| 使用料、賃借料 | | |
| その他 | | |
| 計 | 276,000 | 276,000 |

支出科目の内訳

| 科 目 | 金額 (円) | 内 訳※ |
|---------------|------------|---|
| | 支援金算出額 (円) | |
| 報償費 | | |
| 旅費 | | |
| 印刷製本、 消耗品費 | 77,500 | 印刷製本：7,500 共通部品費：バッテリー、ドリルなど 30,000 各戸部品費：取付金具、木、アイストラップ など @1,000×40 戸=40,000 |
| | 77,500 | |
| 食糧費 | | |
| 通信費、 手数料 | 500 | 郵送費：500 |
| | 500 | |
| 備品費 | | |
| 人件費 | 198,000 | 人件費：@900×5.5 時間（平均）×40 戸=198,000 |
| | 198,000 | |
| 使用料、 賃借料 | | |
| その他 | | |

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを（ ）書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000 円×5h×2 人=10,000 円 (@900 円×5h×2 人=9,000 円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4版（片面印刷）とする。